

資料：項目の記述内容

*この項目内容については共同注意関連行動とPスケール等を参考にした。

国 語

聞くこと・話すこと

1 - 1	突然の音に驚く、元気な声で泣く。
1 - 2	音のする方を向く、親しい人の声に反応する、アーウーと声を出す。
1 - 3	親しい人の声に、微笑むなどといった関心を示す、あやされると笑う、母親の声と他の人の声を聞き分ける、音の違いがわかる。
1 - 4	禁止など、親の話し方で、感情を聞きわける。親しい人やおもちゃなどに向かって、声を出す。行動や顔の表情を真似する。
1 - 5	視線を合わせること、ジェスチャー、行動などを通じて、相手の注意をひきつける。やりとりを開始する。自分自身で声を出し、その声を聞く。
1 - 6	相互的なかわりに他の人が入ることを促す。さかんにおしゃべりする。新しい活動を要求するために、大人の所に物を持ってくる。「いけません」というと手を引っ込める。
2 - 1	最低50個の単語を理解している。言葉でも簡単な要求に適切に答える。例えば「上着を取って」「立って」「手をたたいて」など。10から50の単語、サイン又は語句を繰り返し、模倣する。親しい人に簡単な単語、サイン、シンボルを使う。
2 - 2	最近の出来事や経験に関する質問に適切に答える。例えば、「ボールはどこにありますか」など。2つの単語の入っている要求や指示に従う。例えば、「本をお父さんに渡して」など。2つの主要なアイデアや概念を組み合わせる。また簡単な単語、サイン、シンボルを組み合わせる。例えば、「お母さん、行っちゃった」など。50以上の語彙を使う。
2 - 3	集団場面で、他の人の指示に対応する。3つの単語が入っている要求や指示に従う。「その小さい赤い本を私にとって」など。自分の好みの方法を使って、短い会話を始めたり継続したりする。また簡単な質問をして情報を得る。たとえば、「猫はどこですか」など。「中へ」や「上に」といった前置詞や、「私の」や「それ」といった代名詞を正確に使う。
2 - 4	短い時間であれば、お話を聞き、活動に参加できる。4つ以上の単語の要求や指示に答える。例えば、「図書館から動物についての大きな本を借りてきなさい」など。行事、物語などについての質問に対して、受け答えをする。3つ以内の単語、サイン、シンボルを含んだ文章を使って、簡単な考えや行事を他の人に伝える。また規則的な複数形を正しく使う。現在、過去、未来の出来事や経験に関して、簡単な語句や文章で伝える。接続詞を使って、考えをつなぎ合わせたり、または質問されていること以上の情報を付け加えたりする。
2 - 5	自信を持ってロールプレイに参加する。「なぜ」「どのように」といった質問に対して適切に答える。4つまでの単語、サイン、シンボルをつなげて、1対1及び集団で、自分の経験を伝えたり、よく知っている話をしたりする。「健ちゃんのジャンパー」などといった、所有格を使う。

読むこと

1 - 1	物や明るさの変化に驚く。
1 - 2	親しい人や物を見る，追視する。
1 - 3	親しい人を見ると，微笑むなどといった関心を示す。人や物に持続的に注意を集中する。
1 - 4	好みの人へ手を伸ばす。印刷された人，物に注意を向ける。繰り返しの音声等が伴う物語に，特定の動物が登場するたびに，喜びを示す。しぐさや顔の表情を真似する。
1 - 5	視線を合わせること，ジェスチャー，行動などを通じて，相手の注意をひきつける。大人と一緒に物を見る。例えば，絵本等を大人と一緒に見る。
1 - 6	相互的なかわりに他の人が入ることを促す。よく知っている詩のあらかじめ空白にしてある音や筋といった既に知っていることを期待する。他の人と一緒に見ている本のページをめくる。
2 - 1	よく知っているリズムやお話を聞き，反応する。本がどのように役に立つものであるのかを，ある程度，理解している。例えば，ページをめくるとか，本を正しく持つなど。
2 - 2	よく知っているいくつかの単語，シンボルまたは絵を選択する。また自分にとってわかりやすく提示された絵，シンボル，などの意味を理解している。6つの絵の中から指示されて，ボールを指さす。自動車を指さす。
2 - 3	名前，人，物，動作などのよく知っている語彙に関連する単語やシンボルをいくつか読み，認識し，選択する。文字や短い単語を結びつける。
2 - 4	読む活動に興味を示し，物語の部分を予測する。大人が読む途中で止まると，次の単語を埋めるなど。文章やシンボルと写真との区別をする。文章は左から右へ，上から下へ，ページは順番に，といった読むための決まりごとを理解する。名前は文字でできていることを知っている。
2 - 5	単語，シンボル，写真が意味を伝えるものであることを理解する。ひらがなの少なくとも半分くらいの形，名前，音を認識している。音節，単語またはシンボルと音を結びつける。

書くこと

1 - 1	急に抱き上げられ，動かされることに驚く。
1 - 2	親しい人に触られて，応答する，腕や手足を動かす。
1 - 3	物をつかむ，ガラガラを振る。
1 - 4	親しい人へ手を伸ばす。物をつかむ，離すを繰り返す。
1 - 5	おもちゃとおもちゃをぶつける，たたく。親指と人差し指で物をつかむ。
1 - 6	相互的なかわりに他の人が入ることを促す。他の人と一緒にマークやシンボルを動かす。新しい活動を要求するために，大人の所に物を持ってくる。
2 - 1	マークやシンボルが意味を表すものであることを理解している。例えば，時間割の上にマークやシンボルを置く意味や順番の中にマークを置く意味など。自分の好むコミュニケーションの方法でマークやシンボルを使う。
2 - 2	自分の名前やよく知っている話し言葉，行為，イメージ，行事などに関連したマークやシンボルの意味がわかって，それらを使う。形や直線パターンをなぞったり，上書きしたり，模写したりする。

2 - 3	文字やシンボルで自分の名前を作ったり、書いたりする。縦の線をひく。簡単な形や文字などを模写する。縦の線をひく。
2 - 4	文字をひとまとまりにしたり、別の単語を書くために、間隔をあけて、空白を取る。自分の名前又は1, 2の簡単な単語を記憶して書く。模倣しながら横線をひく。
2 - 5	手紙など、書くことにはさまざまな目的があることを理解する。文字を上から下へ、左から右へと書くことがわかる。自分の好みの方法を用いて、ひらがな、または適切なシンボルを使って、自分の名前を書く。

算数（数と計算、量と測定、図形で共通）

1 - 1	突然の音や動き、光に驚く。
1 - 2	手に物をのせられると握る、はらう。突然の出来事や物の変化に注意を向ける。
1 - 3	親しい人や物に対して一貫した反応をし始める。繰り返しが崩れた時など、新しい活動に興奮したり、驚いたりと反応する。見える範囲で動く物を追視するなど、人や物に対する興味を示し始める。他者と共同での活動を受け入れ、取り組む。例えば、顔の近くへ物を持ち上げ、一緒に見るなど。
1 - 4	単純なやり取りを見通すようになる。一定の好みを示し、情緒的な反応を示す。例えば、好みの物を持ちたいと行動で示す。親しい人や物がわかる。例えば、選択肢を提供された時に、自分のお弁当箱に視線を送るなど。試行錯誤しながら行動し、短い期間に学習した行為を記憶する。例えば、よく知っている道具などを使って行動を反復したりする。また他者と共に探索したり、支援されて活動に参加したりなど、共同して取り組む。例えば、手渡された物の感触を触って確かめるなど。
1 - 5	意図的にコミュニケーションを始める。視線を合わせることで、ジェスチャー、行動などを通じて、注意をひきつける。また、大人に物を差し出すことで、活動を要求する。より少ない支援で、活動に共に参加する。短時間であれば注意を持続でき、集中できる。徐々に複雑な方法で教材を探索する。例えば、物を振ったり、なぞったりして探索する。自身の活動の結果に、関心を持って観察する。例えば、物を投げたり、落としたりする。前回の授業で学んだ飛び出すおもちゃの使い方を記憶し、適切に行動したりという、より長期間にわたっての学習の成果に従って、行動する。探索的に物に触れ、操作する。
1 - 6	生徒はよく使うコミュニケーションの幅を広げる。知っている人に挨拶をし、かかわりや活動を始める。例えば、大人からの関わりを催促するように、物を落とす。より多くの時間をかけて学習した結果として、行動を記憶する。例えば、学校で一日が終わる際には、コートやカバンを取りに行くなどである。うなずいたり、頭を横に振ったりするジェスチャーや行動で、様々な選択肢に対して反応する。より長期間にわたって物や行事を積極的に探求する。例えば、特定の物を指し示したり、他の物ではなくそれを渡したりする。体系的に問題解決をする。例えば、道具を目的を持って適切に使うなど。

数と計算（１－１から１－６は共通）

2－1	数の活動に対して気づきを示す。例えば、数のリズム、歌、数のゲームなどの際に真似たり、数のリズムや歌の間に、知っている人に指示されれば、その順番で絵や数を示すなど。
2－2	よく知っている数のリズム、お話、歌、ゲームなどに反応する。１または２を、視線、まばたき、ジェスチャー、その他の方法で、求めに応じて示す。「ひとつ」と「たくさん」を、お皿の上の食べ物で区別する。
2－3	いろいろな場面で一対一対応を理解している。５までの数字を暗記で数える。３までは確実に数えられ、３つの物をひとまとめにしたり、よく知っている活動やゲームの中で３つまでの数字を使うことができる。「より多くの」という概念を理解する。
2－4	10までの数字を暗記で数える。５までの数字は確実に数えられる。「より少ない」という概念を理解していて、いくつかのものに「１つ加える」ということがわかる。
2－5	10以上の数を暗記で数える。１～９までの数がわかる。レースや競争などで一番、二番、三番がわかる。

量と測定（１－１から１－６は共通）

2－1	物の永続性を理解する。例えば、物や音が取り去られた時に、それを捜し求めるなど。生徒は大小のものを一致（マッチング）させる。物同士の位置や関係に興味を示す。
2－2	日頃置いてある物を、意図的に探す。要求に応じて大小を区別する。顕著な違いがあれば、あるものを他のものと比べてその大きさがわかる。物の位置を確認する。「もう少し」がわかる。
2－3	いつもの場所に見つからないものを探し、物の永続性を理解する。違いのあまり大きくない場合でも、その物のサイズを比較する。物を何かの「中に」「上に」「下に」「内に」に置くといった要求に答える。高い、低いがわかる。
2－4	「前へ」や「後ろへ」という言葉に対応する。大きさや量を比較して、実際の場面でよく知っている単語を使う。例えば、「重い」や「軽い」、「より多い」や「より少ない」、「充分な」または「充分ではない」といった物や量を比較する言葉を使う。
2－5	長さや高さにおいて、違いのはっきりしている時、直接的に物の比較をし、「長い方」とか「高い方」などと言い表す。よく知っている曜日の名前や食事の時間、就寝時間など一日のうちではっきりとした時間がわかるなど、時間がわかる。

図形（１－１から１－６は共通）

2－1	大小のものを一致（マッチング）させる。物を積み上げたり、重ねたりする。
2－2	要求に応じて大小を区別する。例えば、二者択一で、「大きい」と「小さい」を見分ける。顕著な違いがあれば、あるものを他のものと比べてその大きさがわかる。円、四角形、三角形の型はめパズルができる。
2－3	違いのあまり大きくない場合でも、その物のサイズを比較する。型はめをするとか、立体等の三次元のもの进行操作する。位置を表す単語、サイン、シンボルの理解を示す。物を何かの「中に」「上に」「下に」「内に」に置くといった要求に答えられる。動物の形を見分ける。

2 - 4	図形の集合の中から，説明された形を取り出す。例えば，教室の中の丸い物を全て見つけるとか，辺が直線のものを見つけるとか，型あわせの型に合った物を入れるなど。三角を合わせて，長方形をつくる。
2 - 5	「直線」「円」「より大きい」といった平面上の形や大きさを表す数学の言葉がわかる。形を簡単なモデル，絵，パターンを使って表す。

生 活

生活スキル

1 - 1	空腹の時に泣く。
1 - 2	顔に布をかけられると不快をしめす。
1 - 3	スプーンで物を食べる。
1 - 4	ビスケットなどを自分で食べる。コップから飲む。
1 - 5	コップなどを両手で持っていく。
1 - 6	コップを自分で持って飲む。
2 - 1	ほめられると繰り返す，お菓子の包み紙をとる。
2 - 2	一人で，パンツを脱ぐ。トイレを予告する。
2 - 3	上着を自分で脱ぐ。靴を一人で履く。
2 - 4	お風呂でからだを洗う。信号をみて，正しく道路をわたる。
2 - 5	一人で，着替えをする，砂場で他者と協力して山を作る。

体 育

運動・動作

1 - 1	首を動かす，触れたら反応する。
1 - 2	腹這いで頭をあげる，手をしゃぶる。
1 - 3	首がすわる，おもちゃをつかんでいる。
1 - 4	寝返りをする，手を出して物をつかむ。
1 - 5	ひとりで座って遊ぶ。おもちゃのたいこをたたく。
1 - 6	つかまって立ちあがる。びんのふたを，あけたりしめたりする。
2 - 1	座って姿勢から立ちあがる。なぐり書きをする。
2 - 2	走る，ボールを前にける。積み木を横に2つ並べる。
2 - 3	片足で，2，3秒立つ。はさみを使って紙を切る。
2 - 4	片足で数歩跳ぶ。紙を直線に沿って切る。
2 - 5	スキップをする。折り紙をおる。